

第13回チャンネル700番組審議委員会 議事録

ジャパンケーブルキャスト株式会社  
チャンネル700事業推進課

1. 開催日時 令和5年3月10日(金) 11:00~12:55
2. 開催場所 本社 (東京都千代田区内幸町2-1-6 日比谷パークフロント9階)
3. 委員 総数 9名

出席委員数 9名

出席委員 (敬称略)

株式会社ニューメディア	月刊ニューメディア代表発行人	天野 昭
株式会社釣りビジョン	代表取締役社長	嶋村 安高
株式会社 WOWOW プラス	代表取締役社長	大熊 和彦
株式会社秋田ケーブルテレビ	取締役会長	松浦 隆一
株式会社野村総合研究所	ICT メディアコンサルティング部 プリンシパル	山口 毅
伊那ケーブルテレビジョン株式会社	常務取締役	伊藤 秀男
東京ケーブルネットワーク株式会社	取締役常務執行役員	西村 政彦
東京ケーブルネットワーク株式会社	コミュニティ事業部長	富平 昌宏
株式会社ビデオ・テック	代表取締役	平石 能敬

● ジャパンケーブルキャスト (JCC)

取締役COO 社長業務代行	大熊 茂隆
取締役	樋山 洋介
コンテンツ営業部 部長	岩浪 正純
チャンネル 700 事業推進課	牧野 隼也
チャンネル 700 事業推進課	青木 唯香
チャンネル 700 事業推進課	益田 英利
チャンネル 700 事業推進課	吉村 理菜
チャンネル 700 事業推進課	栃木 弘之

※役職は全て開催日時点のものです

4. 内容 (1) 番組審議委員のご紹介 / チャンネル700スタッフ紹介  
 (2) 2022年の取り組みと編成分析、2023年の指針  
 (3) チャンネル700自主制作番組の紹介とダイジェスト映像視聴  
 (4) 番組審議・意見交換 (次ページ以降参照)

5. 番組審議等

20分ほどの自主制作番組ダイジェストを視聴後、内容を審議し全委員から「問題あり」という意見はなかった。視聴番組は以下の通り。

1	ジャパンケーブルキャスト	すゑひろがりずのあっぱれふるさと珍道中
2	ジャパンケーブルキャスト	オートバックス全日本カート選手権
3	ジャパンケーブルキャスト	東京 WORLD ぐるぐるぐるめ
4	ジャパンケーブルキャスト	極旅～ゴクッタビ～ マルタスペシャル

【チャンネル700に関する主な提言・意見交換】

- 委員 様々な取り組みをされており、またBSとも連携している面白と感じたが、BSと連携している目的が不明。最終的に周知拡大なのか、広告収入のためなのか目的を明確にすべき。映像で見た自主制作のグルメ番組などは、地上波等でジャンルとしてはよくある番組だが、ニッチ感があって良いと感じた。やはり「社会課題」である地域の課題を取り上げているマスメディアは少ないので、それも含めた番組制作をしてはどうか。
- JCC 視聴者にコンテンツを届けるという意味ではBSなどその他のメディアと同じような取り組みもある程度必要ではないか。ケーブル局とコラボして、地域のコンテンツを発信していく意義もあるので地域課題に取り組む必要はあると感じている。
- 委員 地方の規模の小さなケーブル局のコミチャンは多くの番組制作やコンテンツ調達が厳しいためチャンネル700を入れていくことで編成の助けになるのではないか。そういう観点からチャンネル700を運営していてもいいのではないか。
- 委員 番組のテーマも幅広く、新規取り組みも積極的で素晴らしい。予算的な問題もあり番組制作は大変であるが協賛などでうまく運用していくのはどうか。生中継で実施している地域のお祭りなどに加え、各地域で話題

性のあるニッチなものを取り上げていくことで存在感を出していくべき。

委員 「更なる総合エンターテインメント化」ということだったが  
ブランディングを決定したのであれば、キャッチーなワンフレーズを決めて、  
それを継続していくのはどうか。  
またチャンネル700の看板番組を希望する。

「すゑひろがりずのあっぱれふるさと珍道中」が今はそうかもしれないが、  
この二人にチャンネル700の案内人をやってもらうなど工夫してはどうか。

委員 地域の人と取り組むことは難しいかもしれないが、コミュニケーションの  
正常化に向けた取り組みを地域の人と一緒にできるような番組制作を  
したらいいのではないか。

JCC 生中継に関しては、過去にJAXAや富士総合火力演習などの実施がある。  
JAXAに関して今年2月は日程が合わず放送実施に至らなかった。  
JAXAのロケット打ち上げは天候の影響で直前に飛ばなくなったり、  
時間もよめない部分があり、編成においてコミチャン転用していただい  
ている局にご迷惑をかけることもあるため、そういったことも含めて検討して  
いく必要があると考える。

ブランディングの打ち出しについては引き続き、検討していく。

委員 6人というチーム体制で、編成、広告、そして制作まで運営しているのは  
少人数であるのに立派である。それでもってクオリティもしっかりしている。  
弊社でも多く番組を制作しているが、制作は大変なので、経営的にもチーム  
状況を把握すべき。編集もMAもテロップも、生中継も全てを受け持っている  
ので上層部はもっと評価してあげてほしい。

委員 北海道から沖縄まで放送しているが、北海道の人は沖縄の情報は取りにいか  
ない。エリアをある程度分けて編成してはどうか。  
この月になにをするのか、決めることで営業もしやすくなるし告知にもなる。

委員 プレゼント応募などで視聴者とのコミュニケーションや  
日々の問い合わせはあるのか？

JCC カスタマーとのコミュニケーションツールは現在、メールや葉書のみ。  
問い合わせやご意見は、チャンネル700の定例会などで共有している。

委員 弊社では問い合わせいただいた方や要望をいただいた方にはグッズの謝礼を  
行っている。視聴者が望んでいるものを引き出し、もう少し視聴者と  
コミュニケーションできるカスタマーセンターみたいなものもあってよいの  
ではないか。

JCC チャンネル700は専門チャンネルとしていないため、どうしてもターゲット  
が絞りにくい。老若男女で子供でも見られる番組を編成している。

ケーブルテレビ局のコミチャンへの転用も目標にしているため、セクシー系番組はあまり編成せず、誰が接触しても安心して見られるチャンネルを現在は意識している。

グッズなどは現在保有していない。

委員 「すゑひろがりずのあっぱれふるさと珍道中」だが道の駅やサービスエリアなど楽しい番組だと感じた。

すゑひろがりずという芸人を採用することにより賛成もあれば反対もある。ネガティブな意見はあるのか？

JCC 現時点では、ネガティブなご意見はいただいてない。SNSでは特に好評のご意見をいただいている。

委員 社会課題に向けた、SDGsや企業を取り上げる番組を月1などでやってはどうか？視聴者の受けも良いし、ネタにつまることがない。そういう切り口で制作してはどうか。

JCC チャンネル700のコンセプトにも合っているしいいと思う。ぜひご一緒（コラボ）させていただきたい。

委員 自主制作番組に関して、観光協会との繋がりができるのはとてもいい機会。チャンネル700の「全国に繋がりがあがる」という強みをいかして視聴者をもっと増やしていくべき。ケーブル局だから見られるものの制作を望む。

JCC ぐるめの番組は、料理そのものではなく料理以外の文化や国にもフューチャーして特色を出している。また、色々なケーブルテレビ局とチャンネル700で番組のコラボをしていたが、コロナでストップしていた。情勢が変わり、ケーブルテレビ局とコラボも少しずつだが、再開出来ている。サプライヤー様にも番組制作のコラボをぜひお願いしたい。

委員 「すゑひろがりずのあっぱれふるさと珍道中」や「全日本カート選手権」などの番組は、コミチャンでは制作し辛いので、ありがたい。「東京WORLDぐるぐるぐるめ」は、孤独のグルメを見ている感覚で地方でも見られるのでぜひAJC-CMSで配信してほしい。

委員 焚火や富士山をただ流すなどスローライフ生中継はどうか。作りこまない生中継も良いと思う。定点でものんびり見られたら良い。

委員 番組をアーカイブしながら全国へ発信していけばどうか。ゲームを中継したり、地域とコラボしてアウェーなスポーツなどを取り上げても良いのではないか。

委員 「チャンネル700アワード」を計画してはどうか。

- JCC スローライフ中継は、JC-HITSで配信しているナチュラルウィンドウと棲み分けしながらやっていけたらいいと考える。  
ソロキャンプなどは地上波などでも多いので淡々と流せるものを検討してもいいかもしれないと感じた。  
地方で開催されているスポーツも権利がクリアになればぜひ検討したい。
- 委員 チャンネル700を応援する一人として、自主制作はもっと工夫して尖った形での制作も意識して欲しい。総合エンターテインメントは、わかるようでわからない。外部調達もやっているようだが、工夫や方針はあるのか？
- JCC ケーブルテレビ局制作の外部調達に関しては、なるべくAJC-CMSにのってないものを直接交渉し編成している。
- 委員 バラエティ番組を制作するのはいいが、チャンネル700の良さがなくなった。「チャンスの側面と墮落の側面」があると感じた。  
番組審議委員会よりも、企画会議を開催すべき。  
地域のケーブル局がチャンネル700に出資する構造でも良いのではないか。
- JCC 企画力という意味では、制作する立場としていつもある課題。  
チャンネル700でしかできないことをやっていきたい。
- 委員 チャンネル700としての誇りをもって。  
チャンスを掴んでほしい

以上